

緑の風 FAX版



NO. 82 2021年12月26日 JR東労組

JR東労組ホームページ

羽越本線列車脱線事故 から16年



**命を守るため、労働組合として
安全な鉄道をつくることを誓う！**

羽越本線列車脱線事故から16年目を迎えた12月25日、中央本部・新潟地本・運輸車両部会の代表者で事故現場を訪れ、亡くなられた5名のお客さまに対する献花を行いました。

事故当時を思わせる悪天候の中、労働組合として「原因究明」の観点で労使議論を深め、安全な鉄道をつくる決意を新たにしました。

【羽越本線列車脱線事故】

2005年12月25日(日)19時14分頃、羽越本線 砂越～北余目駅間を走行中の「いなほ14号」が、橋梁通過後に右から転覆限界風速を超えるような局所的な突風を受けたため全車両が脱線、そのうち前から3両が転覆し、築堤下の建物に衝撃、大破しました。この事故により、お客さま5名が亡くなり、お客さま31名と乗務員2名が負傷しました。

**安全な職場風土をつくり、継承するにはどう
すべきか、現場目線で発信し議論を深めよう！**